

5. 花き類

(1) きく

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
ゴーゴーサン乳剤	全面土壌散布	定植前（雑草発生前）	1回（ペンデイメタリン1回）	
ダイヤモンド水和剤	全面土壌散布	定植前（雑草発生前）	1回（クロルフルム1回）	
トレファノサイド乳剤	畦間土壌散布	定植後	1回（トリフルリン1回）	きく（露地栽培）

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。

注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。

防除時期及び処理法	対象雑草	除草剤の種類及び10a当り使用量	使用法	注意事項
定植前（雑草発生前） 全面土壌散布	一年生雑草	ゴーゴーサン乳剤（ペンデイメタリン30%） 200～400mℓ	1. ゴーゴーサン乳剤は水70～150ℓに、 ダイヤモンド水和剤は水300ℓに溶かし、 均一に散布する。	1. 適湿状態で散布する。 2. ゴーゴーサン乳剤は、 キク科及びツユクサに 対して効果が劣る。
		ダイヤモンド水和剤（クロルフルム50%） 400～800g		
定植後 畦間土壌散布	一年生雑草（ツユクサ科、 カヤツリグサ科、キク科、 アブラナ科を除く）	トレファノサイド乳剤（トリフルリン44.5%） 200～300mℓ	1. 水100ℓに溶かして均一に散布する。	1. 生育が軟弱な場合は使用を避ける。

・参考農薬

薬剤名	対象雑草	使用方法	使用時期	使用量	使用回数	魚毒	備考
アグロマックス水和剤	一年生雑草（キク科、 カヤツリグサ科を除く）	全面土壌散布	定植後雑草発生前	200～400g/10a	1回（プロピザミド1回）	A	
クレマート乳剤	一年生雑草	全面土壌散布	定植後（雑草発生前）	200～400mℓ/10a	1回（ブタミホス1回）	B	きく（ホットマム）
クレマートU粒剤	一年生雑草	全面土壌散布	定植後（雑草発生前）	4～6kg/10a	1回（ブタミホス1回）	B	
ナブ乳剤	一年生イネ科雑草（スズメカサネを除く）	雑草茎葉散布又は全面散布	雑草生育期（イネ科雑草3～5葉期）	150～200mℓ/10a	3回以内（セトキシジム3回以内）	B	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。

注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。

(2) ゆり

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
トレファノサイド乳剤	全面土壌散布	植付後～萌芽前	1回(トリフルリン1回)	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。

防除時期及び処理法	対象雑草	除草剤の種類及び 10a 当り使用量	使用法	注意事項
植付後～萌芽前 全面土壌散布	一年生雑草 (ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)	トレファノサイド乳剤 (トリフルリン 44.5%) 200～300ml	1. 水 100ℓ に溶かして均一に散布する。	

(3) しゃくやく

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
トレファノサイド乳剤	全面土壌散布	植付後～萌芽前	1回(トリフルリン1回)	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。

防除時期及び処理法	対象雑草	除草剤の種類及び 10a 当り使用量	使用法	注意事項
植付後～萌芽前 全面土壌散布	一年生雑草 (ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)	トレファノサイド乳剤 (トリフルリン 44.5%) 200～300ml	1. 水 100ℓ に溶かして均一に散布する。	

(4) グラジオラス

・参考農薬

薬剤名	対象雑草	使用方法	使用時期	使用量	使用回数	魚毒	備考
クレマート乳剤	一年生雑草	全面土壌散布	植付後（雑草発生前）	200～400 mℓ/10a	1回(ブタミホス1回)	B	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。

(5) チューリップ

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
トレファノサイド乳剤	全面土壌散布	植付後～萌芽前	1回(トリフルリン1回)	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。

防除時期及び処理法	対象雑草	除草剤の種類及び 10a 当り使用量	使用法	注意事項
植付後～萌芽前 全面土壌散布	一年生雑草（ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く）	トレファノサイド乳剤 (トリフルリン 44.5%) 200～300mℓ	1. 水 100ℓ に溶かして均一に散布する。	

・参考農薬

薬剤名	対象雑草	使用方法	使用時期	使用量	使用回数	魚毒	備考
クロロIPC	一年生雑草	株間土壌散布	植付後	300 mℓ/10a	1回(IPC1回)	A	
ゴーゴーサン細粒剤F	一年生雑草	全面土壌散布	植付後萌芽前（雑草発生前）	4～6kg/10a	1回(ペンデイメリン1回)	B	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。